

機械器具設置工事業における崩壊・倒壊災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
5	10～11	2号機ボイラー屋外（1FL）において、ボイラー化学洗浄用仮設配管の敷設を4名で実施していた。配管吊治具（以下「治具」）を使用して1本目の配管敷設を終えた後、当該配管横に治具を移動させる際、傾けた状態で治具を横引するため、作業員3名で支えていた。治具の車輪が反被災者側に動いた際、治具のバランスが崩れ転倒し、被災者の肩甲骨付近を強打した。	64～49	30～
6	15～16	旧コード工場に、裁断機の制御盤を搬入する作業を開始した。4名の作業者が制御盤を平台車に載せて搬入を開始した。制御盤を左方向へ方向転換しようとした際に、平台車が土間に引っ掛かり、制御盤が転倒し始めた。被災者は挟まれないように逃げたが、制御盤の架台のアンクルが右足の親指付近に乗り、挟まれて被災した。	30～99	50～
7	18～19	既設水槽の外筒壁廻り解体作業中。外筒同士を接続するボルトをはずしたため、外筒側壁を溶断中に側壁が被災者側に倒れ挟まれた。	37～29	10～
7	13～14	弊社倉庫にて機材（H型鋼）をフォークリフトにて移動し定位置に置く前に、フォークリフトに固定した機材を荷ほどきしたところ、荷くずれをし右足下部に落下してきた。	41～9	1～
7	16～17	プラント設備修理中の設備を回転させる作業に当たっていて、吊り支点となる鉄骨部材をはわせチュシブロックにて巻き上げた際、支点となる部材がたるみ落下し被災者の後頭部に当たり、はずみにて倒れ前頭部を負傷した。	49～9	1～
		当社倉庫で装置一式を積み込み作業中、制御盤（約1.5t）を車両奥側に固縛すると		

7	16～ 17	き、車両内で一度角受けしフォークリフトを後退させ、爪の先端ですくえるよう位置決めをしたが、その際に位置が的確でなく、すくい上げた際に爪先のフレームが重量に耐えられず変形し、爪から外れて奥側に倒れた。その際、荷を支えていた被災者が制御盤の下敷きになり、肩と甲などを負傷した。	46	1 ～ 9
9	21～ 22	改装工事にて、売場内の冷ケース冷媒配管をしゃがんで切断しているときに、背後で行われていた（2メートル）仮囲い解体作業の石膏ボードが倒れて、後頭部を強打した。	29	50 ～ 99
12	11～12	利用者宅のサービスを終え、次の利用者宅に自家用バイクで移動中、バイクごと転倒した（悪天候による単独転倒）。	44	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html